

都立駒込病院医療情報システム

東京都衛生局駒込病院庶務課情報処理担当 森野明義

a). システム開発の経緯

1. システム導入の背景 都立病院の問題点として、「専門分化した各機能の連絡調整が悪く、計画的な業務処理が行われていない。即時処理を要求している情報が多く、連絡先が多岐にわたる。情報の混乱と誤れを引起こし、各取場の本来業務を圧迫している。」(547, 3 都立病院電子計算機導入基本問題調査答申)と指摘された。550, 4 に開設される駒込病院にコンピューターシステムの導入が決定された。
2. 病院概要 駒込病院は、がんと感染症を中心とした高度な医療サービスを行う総合病院として新築され、その運営規模は、がん600床、感染症300床、外来1000人である。
3. システム導入の目的 答申で指摘された問題点をクリアするため、下記5つの観点にポイントをおいた。
 - 1). 患者動線と待ち時間の短縮等 患者サービスの向上
 - 2). 連絡調整等による単純事務作業の軽減等 労務条件の改善
 - 3). 情報伝達のスピードアップと情報の精度向上等 医療の質的向上
 - 4). 病床管理, 経営管理等, 病院管理の近代化。
 - 5). 他医療機関との機能分担, 広域医療情報等公立病院としての役割強化。
4. システム運用前提条件 駒込運営方針から主なものとして挙ると、
 - 1). 予約制の原則 (初診, 再診)

2) 病歴, 病床, X-Yフィルム の集中管理方式

3) 情報 の発生源入力 と医療従事者による端末操作

5. システムの特徴

1) 院内合理化に各機能間の情報伝達の連続性をとってトータル指向

2) 情報 の発生源入力にしてオンライン、リアルタイム

3) 専門的知識を必要としない入力方式にしてCRTを採用.

4) システムの高度信頼性の確保のためデュープレック構成

5) 磁気による診療者からのデータを受けし、入力操作の軽減

b). システムが処理可能としている業務の範囲.

1. 患者登録 (受診科と使用保険の管理)

2. 予約 (診療管理) と病厂 (カルテ) 管理

3. 処方オーダーと薬品管理

4. 検査オーダーと検査成績管理

5. 給食オーダーと食品管理

6. 疾病情報, 医療統計, 病床運営等情報管理

7. 会計情報管理 (外来, 入院, レント, 各種経営資料等)

d). データベースの作り方

* 現在、当システムでは、データベースとしてファイル利用方式をとっていない。

e). コンピュータの接続方法

* c). 主記憶器構成でなされるように、「ディスクプレッファス構成」である。

f). 現在の問題点

1. 問題点認識の視座 当院のコンピュータを他の都立病院と共同利用することになり、その運用開始を機に、組織の変更を行った。

システム運行とシステム設計は管理部門に移管し、各病院には、院内の改善と運用指導のため「情報システム担当主査」を設置した。

以下の問題認識は「情報システム担当主査」の立場からの意見である。

2. 現状の改善点

1). 稼働時間 医師、看護部門からはいくつでも入力可能な状態が必要である。又 医事会計、統計資料等からも、稼働しない時間帯の情報の手入が必要である。

2). システム対応外項目 システムが導入された業務でも、人向きで対応する項目がある為、入力者から視座の画一性がなく繁雑である、特に新人の取組が大変である。例えば、検査オーダー、尿、一般検査、血沈検査 は伝呼系になっている

3). システムのメニュー画面 入力オーダーで他科投与警告との重複メニュー、患者特性による副作用警告メニュー等は、まだ稼働段階である。

47. データバンクと検索レスポンス。 50.10以来、データバンクは、大量であるが、利用方法も含め、検索システムが確立していない。 都度、必要ソフトを作成し、長時間かかす。大量のデータから抽出する作業を行っている。このため、学会等 医師が必要に時に必要データを作成できない。 しかし、がん病院として発足し、7年目に入る現在この方面のニーズは増大している。

9) 新規開発の要項 (項目を列挙するにせよ)

- X-Pオーダー (ex.
- 注射オーダー
- 入院予約
- オパスケジュール
- 看護スケジュール
- 輸血オーダー
- 病理情報
- 物品管理
- 医療情報検索処理